		-						
政策名	子どもの未来と文化をはぐくむまち		施策番号·名	12	活力ある学校づくり	基本事業番号·名	12-02	確かな学力の育成

	所管課係名					対象指	:堙	活動指		成果技					事務事業全	È体					一般財源分				
事務事業	所管課長名		事務事業の概要		事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値		(意図したこと 数値指		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータルコスト					特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議		
番号	市功市米力		(根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	+b+=	実績値	1	2	1)+(2)	事利	務事業の方向 及びその			事業費	古衆帝の極而説四	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価	- (27年度に向けた 方向性等)		
	事務事業名					担保	(単位)	拍慄	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)					(千円)	事業費の概要説明	(千円)	及びその理由等			
	指導室		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務	的対象	市立小学校6年生児童、市立中学校2年生生徒		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度 降方向		説明欄:		
	指導係	根拠法令	・東久留米市立小学校移動教室実施要綱・東久留米市立小・中学校移動教室補助交付要綱		生生徒		1,892		1,892		100	19,119	845	19,964		有効性 4					19 119	4 有効性 4 達成度 4 効率性 4			
	指導室長参事事務取 扱 加納 一好	等			小学校は実行委員会でコースを決め、		(人)			移動教室に参 加した市立小					み、自然を	音泊を伴う体 と愛する心や と通して規範	態度を養うと	とともに、			み、自	:宿泊を伴う体験活動は、自然に親し 然を愛する心や態度を養うとともに、 動を通して規範意識を身につける絶好			
				手!	実地踏査を行った後に移動教室を実施。全校実施後に実行委員会で報告会を行う。小学校は6月~7月榛名、中学		平成24年度	移動教室に参加	平成24年度	プログロック 学校6年生児童 数市立中学校2	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	の機会であ	あり、現状を	維持する必要	要がある。	平成24年度			であり、現状を維持する必要がある。			
12-02-01		-	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	内?	を行う。小学校は6月~7月標名、中学校は1~2月菅平等で共に2泊3日で実施する。	中学校2年生生 徒数	1,913	した児童・生徒 数		年生生徒数/ 市立小学校6年 生児童数市立		10,139	821	10,960							10,139				
	小中学校移動教室事 業	Ď	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)				(人)	-	()	中学校2年生生 徒数	[(%)				-			-							
		事業	□ 直営(委託無) □ 全部委託		自然に親しみ愛する心や態度が養わ		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	1			-	平成23年度		平成23年度				
		形態	■ 一部委託 ■ 補助・助成金 □ その他()	息	図れ、心のふれあいを深めるとともに、 協力して集団生活をする態度を育む。		1,924		1,924		100	19,531	890	20,421							19,531				
			□ その他() □ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務	ktı .			平成25年度		平成25年度		平成25年度	亚成25年度	亚成25年度	亚成25年度	26年度以		27年度以	現状維持	亚成25年度	説明欄:	平成25年度 路士台		説明欄:		
	指導室 指導係	±8 ±bn	・新学習指導要領(文部科学省)		市立小学校児童		5,636		5,636		100	1 1920-192	1 1920-192	1 100-100	阵刀问注	有効性 4	降方向性 達成度 3	- 1	1 19,20 - 19		降力	性 「	-		
	指導室長参事事務取	法令等	・小学校英語活動支援講師認定要領・平成23年度より小学校第5学年及び6学年で、年間35時間必修となる。	第			0,000		(人)		(%)	6,168	634	6,802	説明欄: /	「パー」 小学校では、 語を扱うこと	 児童の日常生	生活の中の			6,168 説明欄	1 1 1 2 2 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1		
	扱 加納 一好		手	愛 小学校1学級あたり、1~4年生は8時		平成24年度		平成24年度	異文化理解及		平成24年度	平成24年度	平成24年度	ながら英語	Bに慣れ親し ことが大切で	むことができ	きるように	平成24年度		ながら	英語に慣れ親しむことができるように ることが大切であること、また、市立				
12-02-02		財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	$+$ \cdot	間、5・6年生は35時間、英語活動補助 路 指導員を派遣する。	市立小学校児	5,673	異文化理解及び コミュニケー	び コ ミ ュ ニ ケーション能 力の向上した					ション能力	童が異文化理 りの向上を図 ら、全学年に	る学習活動に	は重要であ			ション	児童が異文化理解及びコミュニケー 能力の向上を図る学習活動は重要であ から、全学年にわたり、実施する必要					
		上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)			= 37	(人)	上した児童		児童/市内小学校児童		5,879	616	6,495	がある。	X 1110	421C 7 C XII	E / 52.3			5,879 がある				
	小学校英語活動事業		■ 直営(委託無) □ 全部委託				平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	=			Ī	平成23年度		平成23年度				
		事業 形態	□ 一部委託 □ 補助·助成金	意	図 市立小学校児童が異文化理解及びコミュニケーション能力の向上を図る。		5,792		5,792		100	5,715	668	6,383				Ī			5,715				
			□ その他()				(人)		(人)			(%)	5,715	000	6,363							5,715			
	指導室		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務		■ 市立小・中学校		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	拡大	平成25年度	説明欄:	平成25年度 降方向		説明欄:		
	指導係	根拠	· 教育活動協力者支援実施要領				20		20	-		100	1,220	427	1,647		有効性 4					1.220	4 有効性 4 達成度 4 効率性 3		
	指導室長参事事務取 扱 加納 一好	等					(校)	_	(校)		(%)				の援助を行	受業を中心に すうことは、 を充実させる	児童・生徒の	の実態に応			の援助	:授業を中心に児童・生徒の学習活動 を行うことは、児童・生徒の実態に応 導を充実させるため、必要不可欠であ			
				—	设 市民に教育活動協力者として授業等に参加してもらう。教員養成系の学生を		平成24年度	-	平成24年度	派遣学校数/	平成24年度	平成24年度	平成24年度		また、平	平成25年度 習教室(土曜	動) た正式(交で実施し	平成24年度			、平成25年度からモデル校で実施し 補習教室(土曜塾)を平成27年度か			
12-02-03			□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額		客 対象に教育活動の支援をもらう。	市立学校数		派遣学校数	20	市立学校数	100	1,213	414	1,627	ら小学校全	を校での実施	を目指す。	2.1 千皮が				校全校での実施を目指す。			
	教育活動支援事業		□ 市独自上乗せ(上乗・横出) ■ 直営(委託無) □ 全部委託				(校)		(校)		(%)	T stoo fr str	Ti strong for str	T #20 / T #2				-	T et oo er et		T stook to				
		事業	口 一部禾託 口 補助・助成全	音	图 各校の授業を中心に学習活動の援助を 行う。		平成23年度		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度				
		形態	□ その他()		行う。		(校)		(校)		(%)	1,098	449	1,547							1,098				
	H-M-M-L		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務	riy			平成25年度		平成25年度			平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以	現状維持	27年度以	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度 路士兵	以 理 現状維持 降方向性 現状維持	説明欄:		
	指導室 指導係	根拠		一 対	市立小学校6年生市立中学校2年生		1,892	-	1,892		100					有効性 3					i i	1	-		
	指導室長参事事務取 扱 加納 一好	法令					(人)		(人)		(%)	2,871	423	3,294	説明欄:	┃ ┃ ┃ 音楽の生演孝 倹を積むこと	 奏を実際に聞	引き、「鑑			2,871 説明欄				
	TO WHAT AL	1		手	所沢ミューズにて、東京都交響楽団に よる演奏を鑑賞。		平成24年度		平成24年度	音楽に興味関心を持つ小学	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	徒の育成に であり、こ	こは欠かすこ この機会を失	とができない	・教育活動 さない。ま	平成24年度		走の育 平成24年度 であり	成には欠かすことができない教育活動 、この機会を失うことはできない。ま			
12-02-04		財源	□ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	· 内	午前:小学校、午後:中学校 それぞ れに曲目を変えて実施	数 十十八七十	1,913	音楽鑑賞教室に 参加した小学校 6年児童数・中	1,913	校6年児童数・ 中学校2年生徒	100				る必要があ	よい連合行争	・じめり、現場	大を維持す.			る必要	少ない連合行事であり、現状を維持す がある。			
	立本経営教学事業	上乗	□ 市独自上乗せ(上乗・横出)	れに曲目を変えて実施。		工作数	(人)	学校2年生徒数	(,)	数/小学校6年	数/小学校6年 児童数・中学	児童数・中学		3,250	410	3,660							3,250		
	音楽鑑賞教室事業		□ 直営(委託無) □ 全部委託		平成23年度		平成23年度	校2年生徒数	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度				Ī	平成23年度		平成23年度						
		事業 形態	■ 一部委託 □ 補助·助成金	意	一流の演奏家による生演奏を聞く機会 図 を得て、音楽に対する興味関心を高め る		1,924		1,924		100	3,418	445	3,863							3,418				
			□ その他()				(人)		(人)		(%)	0,410	440	3,003							9,110				

日 1 C OO M M C X ID C O	名 子どもの未来と文化をはぐくむまち	にはぐくむまち 施策番号・名	12	活力ある学校づくり] [基本事業番号・名 12-02	確かな学力の育成
-------------------------	--------------------	----------------	----	-----------	-----	----------------	----------

	所管課係名						対象指	標	活動指	標	成果技					事務事業	全体					一般則	オ源分	
事務事業	所管課長名		事務事業	業の概要		事務事業の目的	(対象の数値		(手段の数値指標化)		(意図したこと 数値指		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト					特定	財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議
番号	事務事業名		(根拠法令等、財		事	『務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値(単位)	指標	実績値	指標	実績値(単位)	① (千円)	② (千円)	①+②	事	務事業の方向 及びその]性、項目別 D理由等	評価	事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	- (27年度に向けた 方向性等)
	指導室		□ 自主的 □ 第	養務的 ■ 努力義務的				平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持	説明欄:
	指導係 指導室長参事事務取	根拠	・新学習指導要領	(文部科学省)	- 対象 	市立中学校生徒		2,742	-	2,940.0		8.5	2,522	634	3,156	必要性 4	有効性 3 中学校英語の	達成度 3				2,522	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄:中学校英語の目標は、コミュニケー	-
	扱 加納 一好	1 7			-c cn	1 24 CT + 4. In the 24 to 25 THE OUT HE M		平成24年度		(時間)	外国人による	(%)	亚成24年度	亚成24年度	亚成24年度	外国人に。	力の基礎を養 よる英語学習 とから 租	への支援が	重要視され	平成24年度		亚成24年度	ション能力の基礎を養うこととされており、 外国人による英語学習への支援が重要視され ていることから、現状を維持する必要があ	L
12-02-05		財源	□ 全額補助 □ -			1学級あたり、中学校で年間9時間、外 国人による英語指導補助員を派遣す る。	市立中学校生 徒		全中学校の英語 授業総時間数	2 040 0	英語指導補助 員を活用した 授業時間/全	8.5				. 3.	C N 9 C 904	/ CMLIT	J2 4 10	1 10021-100			5.	
	外国人による英語教	上乗	□ 市独自上乗せ(」	上乗•横出)				(人)		(時間)	中学校の英語 授業総時間数	(%)	2,624	617	3,241							2,624		
	育事業		□ 直営(委託無)	■ 全部委託				平成23年度		平成23年度	羊度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度		
		形態	□ 一部委託□ その他(□ 補助·助成金	意図	中学校生徒における英語教育の充実を 目指し、英語力の向上を図る。		2,764		2,302.0	0	8.4	2,790	669	3,459							2,790		
			(人) 平成25年度		(時間)		平成25年度	亚成25年度	亚成25年度	亚成25年度	26年度以	現状維持	27年度以	現状維持	亚成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 27年度以 8方向性 現状維持 8方向性 現状維持	説明欄:					
	指導室 指導係	根圳	■ □ I I I I	X17141	対象	小学校3・4年生及び中学1年生		1,808	+	1,808		2,774	干灰25千及	干版20年度	干成20平及	14731-312	有効性 4	14771-711		十成23年及		T 10,20 4 19	降方向性 多比 中面 中面 中面 中面 中面 中面 中面 中	-
	指導室長参事事務取 扱 加納 一好	法令等						(人)		(人)	小学校3・4年	(人)	767	254	1,021	説明欄: 神関する単元	「	 おいて、東 実に充実さ	<u> </u> 久留米市に せるために			767	説明欄:社会科学習において、東ク留米市に関する単元の学習を確実に充実させるために 作成している副説本は必要である。	
					手段	社会科副読本作成委員会等で副読本を	を	平成24年度			生、中学1年生 が東久留米市 内の歴史・地	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度		・公田加小は	必安(める	0	平成24年度		平成24年度	FIX.U CV の前肌やは必要である。	
12-02-06				-部補助有 ■ 市全額	内容		小学校3年生及 び中学1年	1,854	社会科副読本作成部数	1,854	域・市政全船 について知り	1	896	246	1,142							896		
	社会科副読本作成事 業		市独自上乗せ((人)	-	(人)	地域理解が深まった児童生 徒数。					_								
		事業	■ 直営(委託無)□ 一部委託	□ 全部委託 □ 補助·助成金	小学校3・4年生、中学1年生が東久留 意図 米市内の歴史・地域・市政全般につい		平成23年度	: - -	平成23年度	 —	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	-				平成23年度		平成23年度			
		形態	□ -mgn □ その他() 相助・助成金	*E	て知り地域理解が深まる。		1,927		(人)		(人)	728	267	995							728		
	指導室		■ 自主的 □ 義	養務的 □ 努力義務的	対象	市立小・中学校帰国児童・生徒及び外		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性 現状維持 27年度以 降方向性 現状維持	説明欄:
	指導係 指導室長参事事務取	根拠	・東久留米市日本記 要綱	吾学習指導講師派遣実施	N	市立小・甲字校帰国児童・生徒及び外 国人児童生徒		7	,	7		7	452	423	875		有効性 3 日本語が理解		効率性 3 め、授業内			452	必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄:日本語が理解できないため、授業内	1
	扱 加納 一好	- 寺				外国から帰国する日本人又は外国から		(人)		(人)		(人)	亚虎鱼在车	TI POACE OF	W r# 0.4 /F r#s	容が分られ	ない児童・生 り、現状を維	徒への支援	の手立ては	平成24年度		平成24年度	容が分らない児童・生徒への支援の手立ては 重要であり、現状を維持する必要がある。	t t
12-02-07		財源	□ 全額補助 □ =	-部補助有 ■ 市全額	手段 内容	来日し、市内の小・中学校へ通う日本 語の出来ない児童・生徒に対し、日本	校帰国児童・	Ι.,	日本語講座を受 講した児童生徒	ŧ	日本語を理解 し、授業が理解できるよう	!	平成24年度	平成24年度	平成24年度					平成24年度		平成24年度		
12 02 01			□ 市独自上乗せ(」				生徒及び外国 人児童生徒	(人)	数		になった児童 生徒数		628	410	1,038							628		
	日本語学習指導事業		■ 直営(委託無)	□ 全部委託				平成23年度	-	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	-				平成23年度		平成23年度		
		事業形態	□ 一部委託	□ 補助·助成金	意図	帰国児童・生徒及び外国人児童生徒が 日本語を理解し、授業が理解できるよ うにする。		5	- 	5		5			044	-								
			□ その他()) in 9 a.		(人)		(人)		(人)	366	445	811							366		
	指導室	1 L		養務的 □ 努力義務的	対象	市立中学校3年生徒		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性	現状維持	27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 27年度以 降方向性 降方向性	説明欄:
	指導係	根拠	・東京都立高等学校 同細目	交入学者選抜実施要綱·	,,,,,,			952	:	952		100	16	211	227		有効性 4						必要性 有効性 達成度 効率性 説明欄:	_
	指導室長参事事務取 扱 加納 一好	等						(人)	-	(人)	目標に準じた 絶対評価によ	(%)				事業であり事前確認を	郡が主催する り、各中学校 を通して、成	における評 績一覧表及	定状況等の び調査書に				最近・少寸作制 :	
			A 471481		手段	成績一覧表調査委員会を年2回開催す る。	市立中学校3年	平成24年度	D. C	平成24年度	る成績で、II しく一覧表に			平成24年度	平成24年度	頼性を確信	る目標に準拠 呆しなければ 要がある。な	ならないこ	とから、実	平成24年度		平成24年度	<u> </u>	
12-02-08			■ 全額補助 □ - □ 市独自上乗せ(」		內容		生徒	931	成績一覧表搭載 者数	931	記載されている市立中学校: 年生徒数/市	3	15	205	220	1 0 / 1 0		、	THE MANUEL STREET					
	成績一覧表調査委員 会事業(都指定)	'	□ 市独目上乗せ(」 ■ 直営(委託無)		-			平成23年度		平成23年度	立中学校3年生 徒数		平成22年産	平成93年中	平成92年度	_				平成23年度		平成23年度		
		事業	□ 一部委託		意図	市立中学校3年生徒が、目標に準じた 絶対評価による成績で、正しく一覧表		910	1	910		100		1 1944以牛茂	1 水454円及					1 19420年段		1 194204-19		
		10:23	□ その他()	کو دی۔	に記載されていることの確認。		(人)		(人)		(%)	17	222	139									
					<u> </u>				1	1						l							1	

		i						
政策名	子どもの未来と文化をはぐくむまち		施策番号·名	12	活力ある学校づくり	基本事業番号・名	12-02	確かな学力の育成

	所管課係名						対象指	堙	活動指	₽	成果排					事務事業金	全体					一般則	対源分							
事務事業	所管課長名		車務車	業の概要		事務事業の目的	(対象の数値指標化)		(手段の数値指標化)		(意図したこと 数値指		事業費	人件費 (理論値)	トータルコスト					特定	財源に伴う一般財源		-	-般財源		全庁評価会議				
番号				財源、上乗、形態)	事	事物事業の日間 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	実績値			実績値		実績値	1	2	1)+(2)	事		列性、項目別評 の理由等		事業費		事業費	車	業の方向性、項目	山野価	(27年度に向けた 方向性等)				
	事務事業名						指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		3.0 (1			(千円)	事業費の概要説明	(千円)	尹仂尹	及びその理由等	וון דם ניכ ווון דם ניכ					
	指導室		■ 自主的 □ ▮	表務的 □ 努力義務的				平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 現 時	27年度以 投入維持 降方向性		説明欄:				
	指導係	根拠			→対象	市立小・中学校児童・生徒		2,825		2,825	学力の調査を	2,825						達成度 4 3	効率性 3					効性 3 達成度						
	指導室長参事事務用 扱 加納 一好	法令等						(人)		(人)	実施し2年前と 現在の学力の 実態が把握で	(人)	1,379	85	1,464			を図るために 応じて学力の				1,379		の向上を図るた 達段階に応じて学						
					手段	「児童・生徒の発達段階に応じて字カの」	小学 5 年生児 童・中学1・3			平成24年度	きた数	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	学校5年生	生から中学校	る。このこと { 1 年生までの 年生までの 2	2年間及	平成24年度		平成24年度	学校5年生か	重要である。この ら中学校1年生ま 生から3年生まで	での2年間及					
12-02-09		財源	□ 全額補助 □ -	一部補助有 ■ 市全額	内容	調宜を実施する。	※平成22年度	2,817	学力の調査を実 施した生徒数	2,817	※24年度の数 =中学1・3年 の生徒数	1,805	4.070		4.404	童・生徒・	一人一人の伸	び率等実態を	・把握し、			4.07	童・生徒一人 小・中学校そ	ェルらる牛生ょく 一人の伸び率等実 れぞれにおける学	態を把握し、					
	24 L d 1 + 175 + 286	上乗	□ 市独自上乗せ((上乗・横出)			までは中学1 年生のみを対	l		(人)	※23年度の数 =中学3年の生		1,352	82	1,434	た教員の担	受業改善を進	める。				1,352	た教員の授業	汝善を進める。						
	学力向上支援事業		□ 直営(委託無)	□ 全部委託		児童・生徒の発達段階に応じて学力の	家	平成23年度		平成23年度	徒数 ※22年度の数		平成23年度	平成23年度	平成23年度					平成23年度		平成23年度	E							
		事業 形態	■ 一部委託	□ 補助·助成金	意図	宇能な畑伊1 極業のきみ畑かわて		2,795		2,795	=中学1年の生 95 徒数	894	1 401	90	1 400							1 401								
			□ その他()		め。		(人)) (人)			(人)	1,401	89	1,490							1,401								
	指導室		■ 自主的 □ ੈ	義務的 □ 努力義務的	÷i∉	市立小・中学校児童・生徒		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性		27年度以 降方向性	縮小	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 降方向性	縮小 27年度以 降方向性		説明欄:				
	指導係	根拠			刈鄉	,		8,378		8,378		8,378	14,170	254	14,424	必要性 3	有効性 3	達成度 4 3	効率性 4			14,170	必要性 3 有	効性 3 達成度	4 効率性 4					
	指導室長参事事務耳 扱 加納 一好	等						(人)) ()	(人)		(人)	14,170	254	14,424	発展的な	学習を習得さ	的な学習内容	対科用図書			14,170	発展的な学習	的・基本的な学習 を習得させるため ************************************	、教科用図書					
					手段	児童生徒の基礎的・基本的な学習内容 の定着や発展的な学習等に必要な副読		平成24年度	── :度 ──副読本補助教材	平成24年度	集年度 基礎的・基本 の定着や発展 の定着や発展 のな学習を進めた児童生	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	指導を実現	見するために	i助教材は、個 必要であるが 法本を精選する	ぶ、学校の	平成24年度		平成24年度	指導を実現す	読本や補助教材は るために必要であ 握し副読本を精選	るが、学校の					
12-02-10		財源	Min C Taxinos C Apinos N = 10 Tax				市立小・中子 校児童・生徒 数	8,461	副武本補助教材 を配布した児 童・生徒数	8,461		8,461	13,948	246	14,194			方を検討する				13,948	る。また、配	布のあり方を検討	する。					
	副読本等に関する事	上乗	□ 市独自上乗せ(〔上乗・横出〕				(人)		(人)		(人)	10,010	210	11,101							10,010								
	莱		■ 直営(委託無)				平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度				平成23年度		平成23年度	E									
		事業形態	□ 一部委託	□ 補助·助成金	意図	児童生徒の基礎的・基本的な学習内容 の定着や発展的な学習が推進される		8,612		8,612		8,612	14,272	267	14,539							14,272								
			□ その他()				(人)		(人)		(人)			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		度以 廃止(完了・ 27年度以 廃止(完了・				ay on the				AV DO IN					
	指導室			義務的 ■ 努力義務的	対象	市立小学校教員		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性	廃止(完了・ 統合含む)	27年度以 降方向性	廃止(完了・ 統合含む)	平成25年度	説明欄:	平成25年度	26年度以 廃 降方向性 #	止(完了・ 27年度) 統合含む 降方向性	人 廃止(完了・ 注 統合含む)	説明欄:				
	指導係	根拠	ア・サイエンス・	教育支援拠点におけるコ ティーチャーを活用した 教育にかかわる指導力向				300	0 6		I	60	0	158	158			達成度 3 多				C)	効性 3 達成度	3 効率性 3					
	指導室長参事事務耳 扱 加納 一好	等	上事業実施要項				(人)		(人)		(人)				り、域内の	の教員を対象	理科教育推進 にした「支援 研修や教材・	髪拠点にお				り、域内の教	主催する理科教育 員を対象にした「 理科実技研修や教	支援拠点にお						
					٠.	域内の教員を対象にした「支援拠点における研修」(理科実技研修や教材・		平成24年度	支援拠点におけ		理科教育にお		平成24年度	平成24年度	平成24年度	等) を実施 状維持が必	施しなければ 必要である。	ならないことなお、当市学	から、現 校の教員	平成24年度		平成24年度	ります。 野りを実施し、 大維持が必要	なければならない である。なお、当	ことから、現 市学校の教員					
12-02-11					内容		市立小学校教 員数	296	る研修を受講し た教員数		ける指導力が 向上した教員 数	53	0	154	154	かかた ギル	なり研修を行 こ実施できた 0の歳入が <i>ね</i>	っているため 。 (24年度 あった)	きまでは、			C	かからずに実	研修を行っている 施できた。 (24) 歳入があった)						
	コアサイエンス・ ティーチャー活用事	上乗	□ 市独自上乗せ((上乗•横出)				(人)		(人)	20	(人)				вр 1 0 / 1	0 10 10 10	,, , , ()						1800 CO 07 21C/						
	業	市业	■ 直営(委託無)			」、学校教皇の四教教会によりより北道士		平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度				-	平成23年度		平成23年度	E							
		形態	□ 一部委託	□ 補助·助成金	意図	小学校教員の理数教育における指導力 向上を図る。		307		0		0	244	167	411							244	ı							
			□ その他()				(人)		(人)		(人)				26年度以		27年度以			新文 8月 株間・		26年度以	27年度1		治田畑·				
	指導室 指導係			義務的 □ 努力義務的 □ 努力義務的 □ 努力義務的	対象	市立小・中学校児童・生徒		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	降方向性	現状維持	27年度以 降方向性	現状維持	平成25年度	D/L-231pg -	平成25年度	降方向性 現	27年度以 降方向性	現状維持	D/L1211[RN -				
		根拠法令	(22文科初第97号	通知)				8,378		8,378		8,378	0	0	0			達成度 4 3				C)	効性 4 達成度 書の採択年は4年						
	指導室長参事事務耳 扱 加納 一好	等	ついて (22書教科:	·2号通知)				(人)		(人)		(人)				が、新たり	こ文部科学大	Eの検定を経]査委員会及び	をた教科書				が、新たに文	ョッポパーはマー 部科学大臣の検定 、選定調査委員会	を経た教科書					
						文部科学省の検定を受けた教科用図書 を教育委員会において採択する。	田 五 小 ・ 甲 子	平成24年度]	平成24年度	教科書を授与		平成24年度	平成24年度		なければた	ならない。平	委員会におい 成25年度につ ったため、各	いては、	平成24年度		平成24年度	なければなら	し、教育委員会に ない。平成25年度 ではなかったため	については、					
12-02-12				一部補助有 ■ 市全額	内容		校児童・生徒 数		対象となる児 童・生徒数		された児童・ 生徒数	8,461	0	307	307	教科書採り開催は無力	ハサ くはなが かった。	…ノににめ、徻	「女貝云の			C	教科書採択年 開催は無かつ		、甘安貝云の					
	教科書採択事業		市独自上乗せ(75%			(人)	_	(人)	生徒数))	(人)											_			
		■ 直営(委託無) □ 全部委託				平成23年度	-	平成23年度		平成23年度		平成23年度	平成23年度				-	平成23年度		平成23年度	Ē									
		形態	□ 一部委託		意図	採択の対象となる教科書について、十 分調査研究を行い、公正に審議する。		8,612		2,764		2,764	279	334	613							279	,							
			□ その他()				(人)		(人)		(人)																		

政策名	子ども	の未来と文化をはぐくむまち		施策番	号·名	12		活力ある	る学校づ	くり			基本事業番号	号•名 12-	-02			確か	な学力の)育成		
	所管課係名			対象指		活動指		成果指(意図したこと					事務事業全体				一般則	才源分				
事務事業	所管課長名	事務事業の概要	事務事業の目的	(対象の数値	直指標化)	(手段の数値	指標化)	数值指標		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト			特定	別源に伴う一般財源			一般財源	i		全庁評価会議 (27年度に向けた
番号	事務事業名	(根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	指標	実績値	指標	実績値	指標	実績値(単位)	① (千円)	② (千円)	①+② (千円)	事務事業の方向 及びその		事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事系		向性、項目別記 の理由等	評価	方向性等)
													26年度以	27年度以		説明欄:		26年度以	İ	27年度以		説明欄:
	指導室 指導係	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	対象 第三小学校		平成25年度		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	26年度以 降方向性 拡大	27年度以 降方向性 現状維持	平成25年度	22110	平成25年度	降方向性		降方向性		
	扫導体	・言語能力向上推事業実施要項根拠			1,064		1,064		100	1.189	161			達成度 4 効率性 4				必要性	有効性	達成度	効率性	
	指導室長参事事務取 扱 加納 一好	等			(人)		(人)		(%)	1,109	161	1,550	説明欄:言語能力に対 受け、児童・生徒の思る。	考力・判断力・表現力				説明欄:				
			言語能力向上推進校を指定し、学校図 手段 書館を活用した各教科の授業、意見の 異なる者どうしの討論・討議等にかか	か	平成24年度		平成24年度		平成24年度	平成24年度	度 平成24年度 平成24年度		▼等を育成するため、言語能力向上推進校を平 日成23から25年度の3年間指定し、活字に 親しむ学校づくりを通して言語能力の向上を		平成24年度		平成24年度					
12-02-13	02-13	財源 ■ 全額補助 □ 一部補助有 □ 市全額	内窓 ろ恵門家を招聘した将業及び新昌研修	指定された学 校の児童数	579	対象となる児童 数	579		100	1 1	567 154 721 223年度 平成23年度 平成23年度		図る必要がある。なお、財源は、都補助率 1 0/10である。 23年度									
	言語能力向上推進事	上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(人)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(%)	567		121										
	業	■ 直営(委託無) □ 全部委託			平成23年度	E :	平成23年度		平成23年度	平成23年度		平成23年度			平成23年度		平成23年度	Ē				
		事業 形態 □ 一部委託 □ 補助・助成金	意図 話字に親しむ学校づくりを通して、児童の言語能力の向上を図る。		599		599		100	578	167	745										
		□ その他()			(人)		(人)		(%)	978	107	140										